



日本芸術院を 彩る受賞作家たち

令和
6年度

日本芸術院 所蔵作品展

令和6年 10月22日(火) ▶ 11月4日(月)祝

※ 10月28日(月)は展示替えの為に休館いたします。

前期

令和6年 10月22日(火) ▶ 10月27日(日)

後期

令和6年 10月29日(火) ▶ 11月4日(月)祝

■ 会 場 日本芸術院会館 展示室 回廊

■ 観 覧 料 無料

■ 開館時間 10時～17時(最終入場16時45分)

■ 主 催 日本芸術院

日本芸術院に所蔵されている美術作品は、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞した作品を中心に、会員就任記念時等の寄贈のほか、故川合玉堂会員の寄附金による買入れ等により、多年にわたり様々な形で収集されたもので、現在の総数は340点あまりに達します。このたび「令和6年度日本芸術院所蔵作品展」では、昭和30年頃より日本芸術院賞を授与した作品、受賞作家作品を中心に、絵画、彫刻、工芸、書の公開を行います。時代に名を遺す芸術家による珠玉の作品をどうぞお楽しみください。



展観予定作家（敬称略・授賞日及び氏名の五十音順）

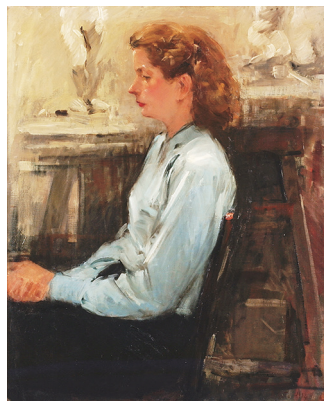
加藤顕清、橋本朝秀、鬼頭鍋三郎、清水六兵衛（六世）、東山魁夷、三井義夫、山口華楊、雨宮治郎、鈴木翠軒、鈴木千久馬、宮之原謙、松田尚之、望月春江、山室百世、岸本景春、蓮田修吾郎、耳野卯三郎、高橋節郎、日比野五鳳



▲高橋節郎《化石譜》後



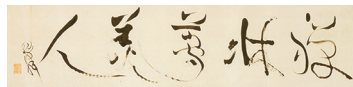
▲鈴木千久馬《てっせん》後



▲鬼頭鍋三郎《アトリエにて》前



▲東山魁夷《光昏》前



▲鈴木翠軒《禅林夢美人》後



▲雨宮治郎《健人》



▲三井義夫《彫金象嵌花器》前



▲耳野卯三郎《静物》後



▲岸本景春《刺繍湖面の影》後



▲山口華楊《仔馬》前

前…前期展観予定作品、後…後期展観予定作品
（記載がないものは、全期間展観予定の作品です。）

この印刷物は、古紙配合率70%再生紙を使用しています。

日本芸術院賞とは

日本芸術院では、会員以外の者で、卓越した芸術作品と認められるものを制作した者及び芸術の進歩に貢献する顕著な業績があると認められる者に対して、昭和16年から戦中、戦後の一時期を除いて毎年、日本芸術院賞を授与しています。天皇皇后両陛下の行幸啓を仰ぎ挙行される授賞式では、この日本芸術院賞を受賞した者の中より特に選ばれて贈られる恩賜賞の授与も併せて行われます。

日本芸術院について

日本芸術院は、文部省美術展覧会の美術審査委員会を母体として、大正8（1919）年に帝国美術院として創設されました。帝国美術院設立当初の美術分野に加え、昭和12（1937）年には文芸及び芸能の分野が拡充され、帝国芸術院へと改組、さらに昭和22（1947）年に現在の日本芸術院へと名称が変更されました。現在、日本芸術院会員の定員は120名であり、第一部：美術、第二部：文芸、及び第三部：音楽・演劇・舞踊のいずれかの分野に所属して運営しています。

日本芸術院会館



■所在地 〒110-0007 東京都台東区上野公園 1-30

■電話 03-3821-7191

■ホームページ <http://www.geijutuin.go.jp>

■交通案内

〔JR〕上野駅公園口 徒歩3分

〔京成電鉄〕京成上野駅正面口 徒歩5分

〔東京メトロ〕日比谷線・銀座線上野駅 徒歩5分

駐車場はございませんので、お車での来院はお控えください